

## 全校集会

- ・ 皆さん、おはようございます。ちょうど1週間前の2月22日に『ミラノ・コルティナ冬季オリンピック』が閉会となりました。
- ・ この『オリンピック』の舞台で結果を残せた選手もいれば、あと一步で勝てなかった選手の姿もあり、皆さんも様々と感じたことがあったのではないのでしょうか。
- ・ 『オリンピック』のたびに、失敗しても決して最後まで諦めないことと、あわせて日々努力し続けることの大切さを感じます (フィギアスケート・スノーボード・ジャンプ・カーリングなど)。
- ・ 金メダルに輝いた“りくりゅうペア”は、とても注目されましたが、ペアを組んで13年カナダを拠点に、挫折も乗り越え、努力し続けてきたことなどが報道されていました。
- ・ 皆さんの日頃の生活においても、学習面や部活動などでも、毎日コツコツと勉強することや練習を積み重ねること、そして、良い成績や結果が得られなくても決して諦めないで最後まで努力する気持ちを持ち続けてほしいと思っています。
- ・ 今週6日(金)からは、『ミラノ・コルティナ冬季パラリンピック』(3/6-15)が開催されます。『パラリンピック』が始まった当初(1960年)は、リハビリのためのスポーツ大会であったようで『オリンピック』とは開催場所も違っていたようです。
- ・ 38年前(1988 ソウル大会)からは、『オリンピック』が行われた同じ場所で、『オリンピック』の直後に大会行われるようになり、また、技術レベルも『オリンピック』に引けを取らない大会となりました。
- ・ 一例をあげると、2021年に開催された『東京パラリンピック』の走り幅跳びで金メダルを獲得し3連覇を果たしたドイツの男子選手は、『東京オリンピック』の優勝記録の届かなかったことをたいへん悔しく思っていたという報道がありました。
- ・ 『オリンピック』と『パラリンピック』の両方の大会に出場した選手が約30人記録されています。その中の一人にポーランドの女子卓球選手は、10年前の『パラリンピック(リオデジャネイロ)』で個人と団体で金メダルを獲得。その時の『オリンピック』にも出場し日本と対戦しています。
- ・ 何か一つの補助器具をつけたり、ルールを少し変更したり、人の補助を借りたりすることで、人ができる可能性は最大限に伸びることを『パラリンピック』を観戦することで感じてほしいと思っています。
- ・ 『オリンピック』・『パラリンピック』が、“平和の祭典”として言われる一つの理由は、『古代オリンピック(紀元前8世紀)』の開催期間中は、戦争は行わないとされていたことからですが、現在の世界では、戦争や戦闘が繰り返し行われていることを悲しく思います。